

信用評価

4

要注意

判定	評価	スコア	ポイント一覧	詳細
適正	1	180 以上	リスクなし	安全性は最高水準で、財務内容も極めて優れていると判断される企業。融資先としてのリスクは最小限で、債務償還能力は最も良い。
	2	160 以上	ほとんどリスクなし	かなり優れていると判断される企業。返済の確実性は極めて高く、業況にも懸念がない。ただし、信用評価1より安全性はやや劣る。
	3	140 以上	リスク些少	貸出先としてはかなり魅力的で安定性も高い。元利払が滞る可能性は低い。が、長期的に見ると安定性が低下する可能性がある。
要注意	4	100 以上	リスクはあるが良好水準	現時点での融資元金払の確実性は高いが、将来的には返済の確実性が低下するか、信用状況に懸念が生じる可能性がある。
	5	80 以上	リスクはあるが平均的水準	当面の返済能力には不安がないが、信用評価4以上に環境の変化などにより将来において安全性が低下する恐れがある。
	6	50 以上	リスクはやや高いが許容範囲	当面の返済能力にはそれほど不安ではないが、長期的に安全性を維持できるという確実性は低い。
危険	7	40 以上	リスク高く徹底管理	すぐに債務不履行に陥るわけではないが、現時点ですでに返済の確実性が低く、安全性に欠ける。将来的にも安全性には懸念がある。
	8	30 以上	警戒先	すでに債務不履行にあるか、あるいは重大な危険性が認められる。企業内容はかなり悪化しており、経営が行き詰まる可能性が高い。
	9	20 以上	延滞先	債務不履行中でかつ解消のめどが立たない。貸出金の回収に重大な懸念が生じており、損失の発生が見込まれる。回収の難しい先。
	10	20 未満	事故先	不良債権化し、貸出金回収の見込みもなく、償却を要する。

評価	配点	得点
定量評価	129	72
定性評価	71	32
合計	200	104

	定量評価	結果値	単位	配点	得点	5	10	15	20
安全性	自己資本比率	21.74	%	10	3				
	ギアリング比率	232.73	%	10	2				
	流動比率	196.00	%	7	7				
	経営安全率	22.50	%	7	7				
収益性	売上高経常利益率	5.00	%	5	5				
	総資本経常利益率	7.30	%	5	5				
	収益フロー	1期連続黒字		5	0				
成長性・規模	売上高増加率	999.99	%	5	5				
	経常利益増加率	999.99	%	5	5				
	自己資本額	55,000	千円	15	3				
返済能力	債務償還年数	5.26	年以内	20	11				
	インタレスト・カバレッジ・レシオ	6.14	倍	15	15				
	キャッシュフロー額	24,330	千円	20	4				
	合計			129	72				

【定量評価計算式】

■自己資本比率
自己資本[55,000]
総資本[253,000] ×100

■ギアリング比率
借入金・社債[128,000]
自己資本[55,000] ×100

■流動比率
流動資産[98,000]
流動負債[50,000] ×100

■経営安全率
売上高[360,000]
-損益分岐点売上高[279,000] ×100
売上高[360,000]

■売上高経常利益率
経常利益[18,000]
売上高[360,000] ×100

■総資本経常利益率
経常利益[18,000]
平均総資本[246,500] ×100

■売上高増加率
売上高[360,000]
-前期売上高[0] ×100
前期売上高[0]

■経常利益増加率
経常利益[18,000]
-前期経常利益[0] ×100
前期経常利益[0]

■債務償還年数
借入金・社債[128,000]
営業利益[21,500]
+減価償却費[2,830]

■インタレスト・カバレッジ・レシオ
営業利益[21,500]
+受取利息・配当金[0]
支払利息・手形売却損[3,500]

■キャッシュフロー額
営業利益[21,500]
+減価償却費[2,830]

定性評価	状態	配点	得点	5	10
業暦(年)	11年	5	3		
市場動向	離陸期	10	6		
景気感応度	普通	3	1		
市場規模	300億円以上	4	2		
競合状態	競合激しい	7	2		
経営者・経営状態	普通	10	5		
株主	非上場・安定	5	1		
従業員のモラル	問題あるが影響なし	3	2		
営業基盤	相当基盤あり	10	5		
競争力	普通	7	3		
シェア	普通	7	2		
合計		71	32		